

# 経済産業省生産動態統計と工業統計について (SNAの推計値の差の上位品目について)

令和元年6月14日

経済産業省調査統計グループ

# 1 (1) 経緯

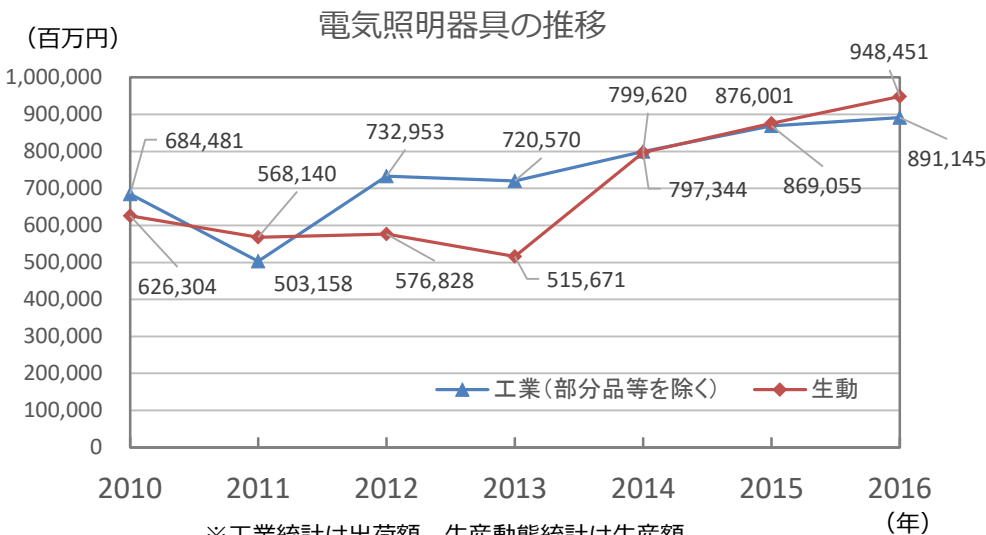
- 2018年10月、SNA部会において、内閣府は第1次推計から第2次年次推計への改定にかかる家計消費および総固定資本形成への影響について、暫定分析の結果を報告。
- 2019年1月、SNA部会において、内閣府が提示した暫定品目について、当省から経済産業省生産動態統計と工業統計の差異の分析を報告
- 2019年4月、内閣府から、検証の最終結果の提示があり、その中でも寄与度が大きいとされた詳細品目(0.020%ポイント以上)は以下の品目
  - ①電気照明器具 (うち白熱電灯器具)
  - ②半導体製造装置 (うちウェーハプロセス用処理装置)
  - ③サービス用機器 (うちパチンコ・スロットマシン)
  - ④建設・鉱山機械 (うち建設用クレーン)
  - ⑤民生用エアコンディショナ
- 上記の5つの詳細品目について、経済産業省生産動態統計 (以下、「生産動態統計」) と工業統計の差異を分析

## 1 (2) 分析にあたって

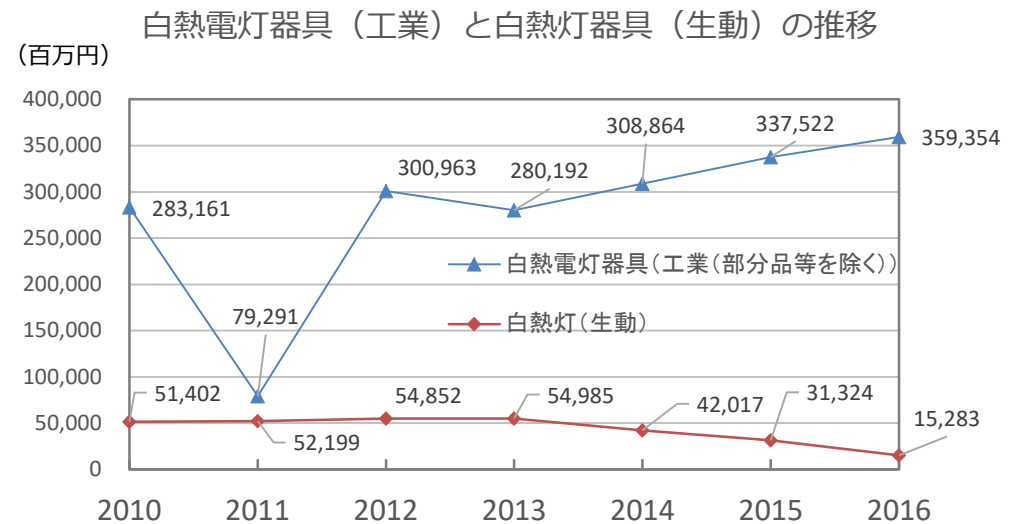
- 内閣府は、5品目のうち、③パチンコ・スロットマシンを除いては、2次年次推計は工業統計を利用し、1次年次推計においては、生産動態統計を利用。（③のパチンコ・スロットマシンは生産動態統計調査の対象ではない。）
- 内閣府によれば、「電気照明器具」という品目の単位ではなく、その下位の階層である詳細品目（例えば「白熱電灯器具」）ごとに、工業統計の出荷額もしくは生産動態統計の生産額の伸び率を利用して、延長推計している。工業統計と生産動態統計の結果の差は小さくても伸び率が異なる場合には改定差も大きくなるという特徴があるとのこと。
- 経産省側では改定差を計算することはできないため、内閣府から改定差が大きいとされた品目の工業統計と生産動態統計の結果の相違を分析。

## 2 (1) 電気照明器具 (うち、白熱電灯器具)

- 2014年、生産動態統計において、LED器具を新規品目として調査を開始
- 電気照明器具全体の数値では、工業統計と生産動態統計の結果数値には大きな差はない。定義が同一でないため、工業統計の「白熱電灯器具」と生産動態統計の「白熱灯器具」の結果数値には差がある。
- 2016年時点で、工業統計の白熱電灯器具は3,594億円、生産動態統計の白熱灯器具は153億円  
(工業統計には生産動態統計に含まれない数値が含まれていると考えられる)



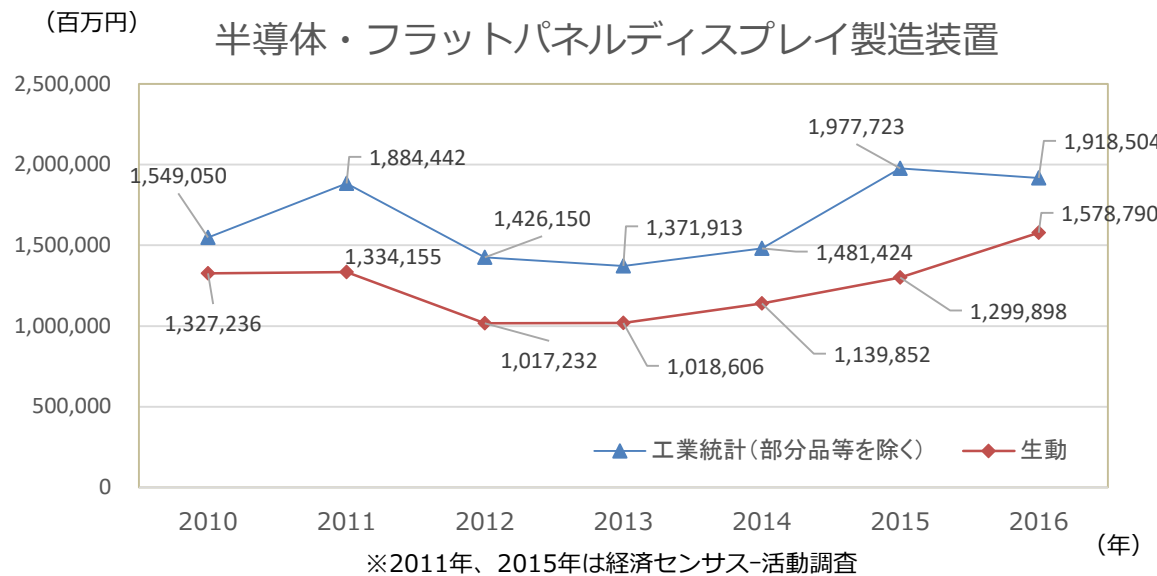
※工業統計は出荷額、生産動態統計は生産額  
 ※生産は2014年からLEDを追加  
 ※工業のグラフの2011年、2015年は経済センサス-活動調査



※工業統計は出荷額、生産動態統計は生産額  
 ※工業のグラフの2011年、2015年は経済センサス-活動調査

## 2 (2) 半導体製造装置 (うち、ウェーハプロセス用処理装置)

- 半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置全体の規模は、1.9兆円規模（工業統計：2016年出荷額）
- ウェーハプロセス用処理装置（2016年）は、工業統計 9,805（億円）、生産動態統計 8,723（億円）であり、その差は、約1,080億円。
- 生産動態統計は毎月の事業所の生産額ベース、工業統計は会計年度における事業所の出荷額ベースで記入されているといった違いも数値に表れている可能性がある。1台あたりの単価も高く、その数値の処理の違いが結果に大きく影響する可能性がある。
- 生産動態統計と工業統計の個票を確認し、今後、調査対象の事業所を捕捉することで水準差が縮まる可能性があるのではないかと考えられる。



ウェーハプロセス用処理装置

年	工業統計出荷額 ※ (部分品等を除く) (億円)	生産動態統計 生産額 (億円)	差(億円)
2012	7,809	5,889	1,920
2013	7,194	5,868	1,325
2014	7,991	6,693	1,298
2015	10,450	7,277	3,173
2016	9,805	8,723	1,082

※2015年は経済センサス-活動調査

## 2 (3) サービス用機器（うち、パチンコ・スロットマシン）

- 工業統計（2016年）のパチンコ・スロットマシンの出荷額は8,317億円
- パチンコ・スロットマシンは、出玉試験など国家公安委員会規則に基づいた試験を受けて製造されるものであり、生産動態統計では指定外品目になっている。
- 生産動態統計の答申（5月24日 統計委員会）の記載

### 4 今後の課題

（3）国民経済計算の精度向上に向けた調査対象品目の追加等について

「サービス用機器」のうち、本調査の対象とはなっていないパチンコ・スロットマシンについて、内閣府における検討・検証の結果、推計による対応が困難と判明した場合、本調査の追加に向けた実査可能性を検討し、可能な限り早期に結論を得ること

サービス用機器およびパチンコ・スロットマシンの出荷額の推移（工業統計（2011年、2015年は経済センサス-活動調査））

年	サービス用機器 (億円)	サービス用機器※(a) (億円)	パチンコ・スロットマ シン(b) (億円)	割合 (b/a) (%)
2010	18,721	14,177	11,407	80.5
2011	17,472	12,996	10,035	77.2
2012	19,517	14,740	11,967	81.2
2013	18,357	13,439	10,631	79.1
2014	19,194	14,516	11,319	78.0
2015	18,573	14,313	10,762	75.2
2016	14,195	11,115	8,317	74.8

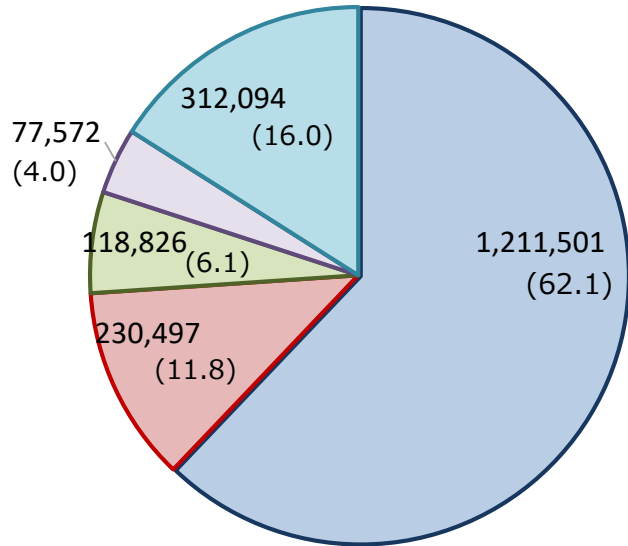
※サービス用機器  
は部分品を除く値

## 2 (4) 建設・鉱山機械（うち建設用クレーン）

- 建設・鉱山機械のうち6割がショベル系掘削機（1兆2,115億円）、建設用クレーンは建設・鉱山機械のうち1割程度（2,304億円）
- 建設用クレーンについて大手複数社にヒアリングを実施した結果、生産動態統計では月次の生産量×社内単価、工業統計では決算ベースでの按分と、報告に際しての違いが確認された。確認結果を踏まえつつ、今後とも両統計において連携を図っていく。

建設・鉱山機械の品目構成比

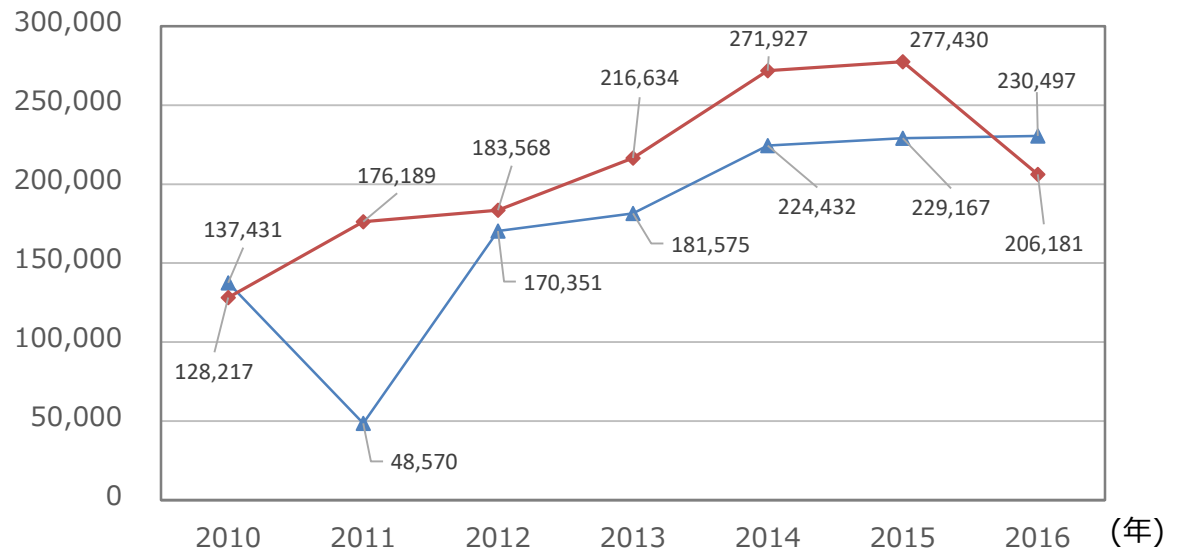
※工業統計(2016年)出荷額（百万円）及び構成比（%）



■ ショベル系掘削機    ■ 建設用クレーン    ■ 建設用トラクタ  
■ ショベルトラック    ■ その他

(百万円)

建設用クレーン



▲ 工業統計 (部分品等を除く)    ◆ 生動

※工業統計は出荷額、生産動態統計は生産額  
 ※2011年、2015年は経済センサス-活動調査

## 2 (5) 民生用エアコンディショナ

- 民生用エアコンディショナは、昨年の暫定品目で既に提示されていた品目。
- 生産動態統計においては、エンジン駆動／電気駆動、セパレート型／パッケージ型の別で分類し、セパレート型は冷房能力別に調査している。工業統計においては、「民生用電気機械器具製造業」に属する品目（家庭用）か、「一般産業用機械・装置製造業」に属する品目（業務用）かで分類している。（2018年10月SNA部会における経産省資料）
- 生産動態統計の冷房能力の7.1KWを除いた生産動態統計の値と工業統計の値は水準差は縮まる（2019年1月SNA部会における経産省資料）。内閣府側の推計の工夫について、内閣府の方針を聞きながら、経産省としても可能な協力をしていきたい。